



# ほうなん

令和8年度 10月号

令和8年9月30日  
杉並区立方南小学校  
03(3322)7661

## 「折り合いをつける経験」を積み重ねる大切さ

副校長 高橋 伸明

2学期が始まり1ヶ月が経ちました。昨年の今頃と違う点といえば、「長雨」が挙げられるのではないのでしょうか。東京地方では、現時点で28日連続の降水を記録しています。これは観測史上初めてであるとのこと。また台風の多さも感じています。今までで一番多い年では、年間39個発生しています。それは60年近く前のことです。何かそれに迫る数であることは間違いありません。長雨等で気を付けたいのは「低気圧不調」と言われる体調の変化です。気圧の変化で自律神経のバランスが崩れ、めまいやだるさ、気分の落ち込み等を感じてしまうことがあります。食事や生活リズムを整え、生活することが大切です。

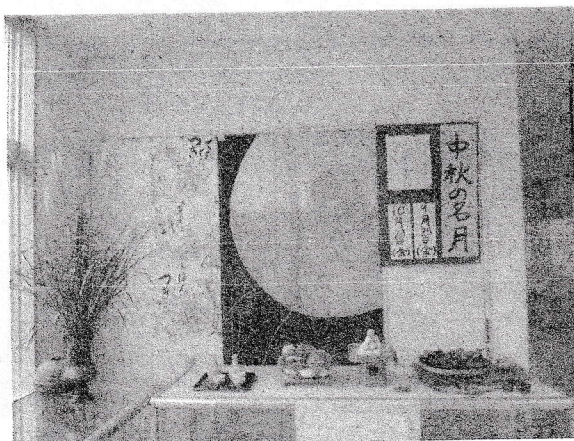
さて標記のテーマについて触れていきたいと思います。「温かな関わり」を大切にしていくことは、どの学校でも共通した思いです。誰もが安心して過ごせる心理的安全性を高めるには、互いの個性や多様性を認め合うことが醸成されることが重要です。元々人と関わる力は、乳幼児の頃から親を中心に、様々な人との関わりで培われていくものですが、スマホ等を介した超情報化社会により、人と関わる力の低下が叫ばれています。全国学力学習状況調査の設問でも、これらについて肯定的な回答が全国的に低く、異なる意見との関わりが課題となっています。

互いに思いを主張し合うことは大切で、自分と異なる意見や考えは悪ではありません。子供たちもそのことには気付いているのですが、いざ異なる意見や考えを目の当たりにして、対立した時に戸惑ったり、否定的な見方をしてしまうことも少なくありません。以前は友達も多く様々な関わりに囲まれた環境で味わうことができた「折り合いをつける経験」が、現在では乏しい社会になっていることも考えられます。また、これは社会全体の風潮で、大人社会でも言えることかもしれません。

「折り合いをつける経験」の大切さは、文部科学省の幼稚園教育要領や小学校学習指導要領にも示されています。集団生活を通して、互いに思いを主張し、折り合いをつける体験の大切さや、その考え方を習得していくことが「互いのよさや可能性を発揮することにつながる」と目標の一つに位置付けられています。

お互いが心地よく過ごせる「着地点」を話し合ってみつける経験は、豊かな人間関係を築く土台となります。折り合いをつける力は、身に付くまでに時間がかかります。しかし折り合いをつけた先に生まれる他者との一体感は、子供たちのにとって大きな喜びとなり、人間関係を築く上で大きな支えになります。子供たちの成長には必要不可欠な体験として、今後も大切にしていきたいと思っています。

学級の中で何かを決める時に「じゃあ、今回はじゃんけんで決めよう」「今日は〇〇さんのやり方にして、次は僕のやり方にしない」など、折り合いをつける姿が多く見られることに期待しています。子供たちが話し合い、納得して一歩を踏み出せるように今後も見守っていきます。



学校支援本部さんによる校内掲示より

## ＜今年度の方南スポーツフェスティバルについて＞

今年度は、児童数の増加に伴い、子どもたち一人一人の活躍の場を大切にしながら、安全で円滑に実施できるよう、種目や進行方法を見直しました。また、児童の体力や集中力、負担にも配慮し、種目数を増やしながらも午前中で終了できるよう工夫しています。

### 【主な変更点】

#### ① 1・2年生の短距離走

時間短縮のため、着順判定は行いません。得点については、赤組・白組それぞれに 100 点を加点します。

#### ② 3・4年生の団体種目

これまで合同で行っていた団体種目を学年別にし、3年生は「台風の目」、4年生は「綱引き」を行います。

#### ③ 5・6年生の表現種目

これまで合同で行っていた表現種目を学年別にし、5年生は「ソーラン」、6年生は「エイサー」を披露します。

子どもたちが力いっぱい取り組む姿に、温かいご声援をお願いいたします。

## 夏休みの作品から ～自由研究・自由工作～



夏休みに作った作品を、各学級の教室やオープンスペースに展示しました。参観された保護者の皆様、いかがでしたでしょうか。

今年の自由研究は任意の課題でしたが、楽しかった夏の思い出が感じられる作品やじっくりと時間をかけて取り組んだ努力が感じられる作品など、子どもたちの個性が感じられるたくさんの作品が提出されました。長い夏休みの期間を利用して、普段の学習とは異なり、自分で学習・活動のテーマや範囲を決め、主体的に学習した成果が発揮されていたと思います。

11月7日（土）～9日（月）には、杉並区の小中学生が製作・研究したものを一堂に展示する「サイエンスグランプリ」がセシオン杉並にて実施されます。方南小学校の自由研究の中からも出品されますので、ぜひ足を運ばれてみてください。

